

令和6年度新入職員の採用内定式を行いました

令和5年10月2日（月）、当金庫本部において、理事長をはじめ常勤理事が出席し、令和6年度新入職員の採用内定式を行いました。

男性4名、女性6名の計10名の内定者に、台理事長から一人ひとり内定証書が手渡されました。内定者は緊張の面持ちで、授与された内定証書を緊張しながら受け取ると、希望に満ちた、晴れやかな表情が素敵でした。

理事長は、内定者に向けて「少子高齢化・人口減少ほか、原発の風評被害、新型コロナウイルス感染症の影響、原材料高など企業が抱える課題は多種多様ありますが、皆さんと共に中小企業の課題解決のお手伝いを行い、“地域を明るく、元気にする街づくり”に取り組みたい。皆さんの入庫を役職員一同、心待ちにしているとともに、残りの学生生活は、学業も含め、悔いのないよう有意義に送っていただき、来年の4月から一緒に働けることを楽しみにしています」と歓迎の挨拶をされ、内定者は真剣な表情で聞き入っていました。役員紹介の後、内定者による自己紹介では、志望動機や入庫後の抱負などを話していただきました。

採用内定式後は、これから同期となる仲間たちとの昼食を兼ねての懇親会が開かれました。内定者は、ここでやっとリラックスした表情になり、食事をいただきながら笑顔でコミュニケーションを楽しむ姿が見られました。続いて行われた先輩職員との座談会では、先輩の仕事内容、職場の雰囲気、遣り甲斐、休日の過ごし方、社会人としての心構えなど積極的に質問していました。先輩職員と気兼ねなく話したことで、不安が和らげられた様でした。

【内定証書授与】



【自己紹介】



【台理事長と内定者の集合写真】



【先輩職員との座談会】



以上



100年のありがとう

～これからも地域とお客様のために～

街の応援団・町のパートナー

ひまわり信用金庫